

令和7年度大阪市市民活動推進助成事業中間報告会

ぱぶすペ

障害がある子供もない子供も一緒に遊べる、またそういった子供をもつ親
もそうでない子供を持つ親も楽しめる“居場所”作り

NPO法人サードプレイス

代表 中西美穂



居場所支援

ぱぶすへ

本当の意味の“インクルーシブ”を推進するため、
障害がある子もない子も、そして、その保護者達
も巻き込んだ、ソーシャルな居場所支援



NPO法人サークルプレイスとは

理念

脳性まひ児（障害児）やその家族が健やかに過ごせる共生社会を目指します

代表プロフィール

ノンフィクションライター。保育士。元週刊誌記者。不妊治療によって双子を出産。次男に障害があることがわかる。自身の経験を活かし、生殖補助医療、妊娠・出産・育児、障害・福祉を中心に取材活動を行う。障害児を持つ親を支援するNPO法人サークルプレイスを運営。

代表的な記事

デイリー新潮 2019年12月25日
双子、三つ子増加のウラで…胎児減らす「減胎手術」の過酷すぎる現実

中西 美穂さん
産科医療補償制度を考える親の会代表

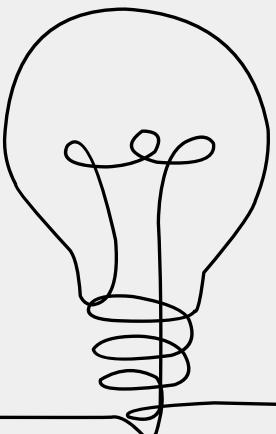
紀伊バーン 2019年12月25日
「すべての障害児の代弁者に」

(デイリー新潮/新潮社) (現代ビジネス/講談社)

活動目的

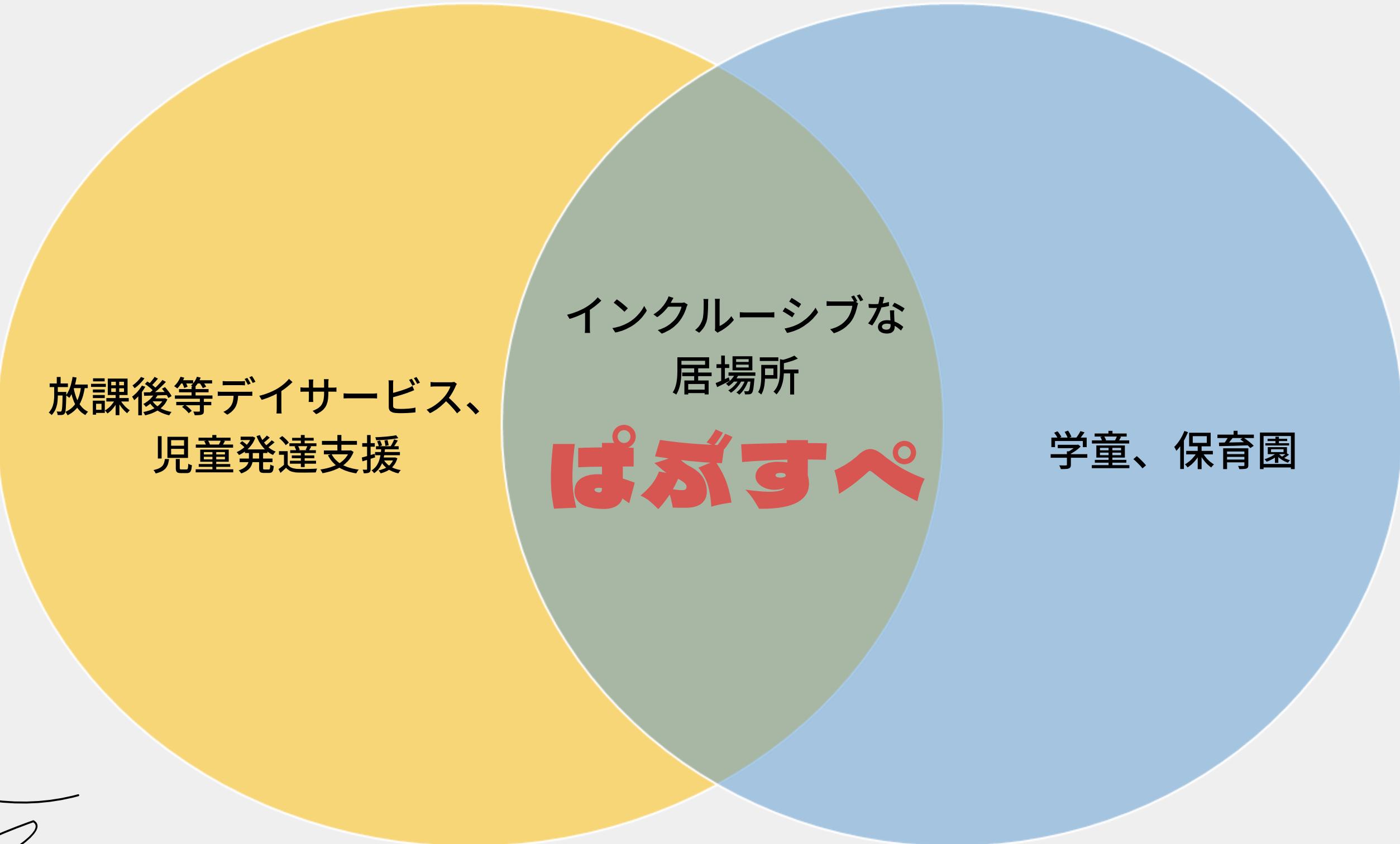
- ・配慮が必要な子どもとそうでない子どもが同じ空間にいて、お互いが理解し、一緒に遊ぶことで障害などの理解が進む
- ・親（特に母親）の居場所を兼ねることで、親の理解も進み、学校や放課後の子供のコミュニティだけではなく、家庭内でのインクルーシブ教育もを推進
- ・親の居場所は、育児に関する情報交換を行い、育児軽減ための支援にもつながる。

親と子ども同時に同時にキャッチアップできる場所に

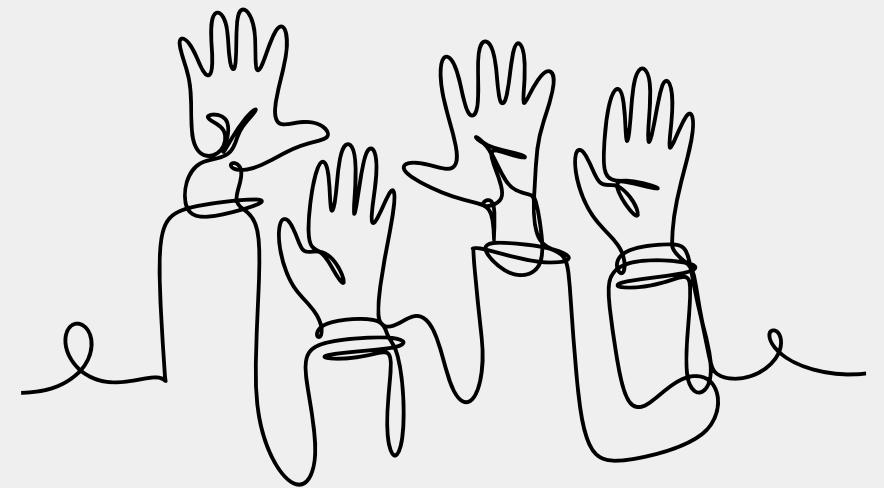


インクルーシブ教育の推進

活動目的



活動内容



活動場所

第二、第四水曜 14時半～17時半

活動場所

大阪市中央区 中大江校下センター

一日の流れ

14時半～15時 子ども達が来る。

14時半～15時半 勉強時間

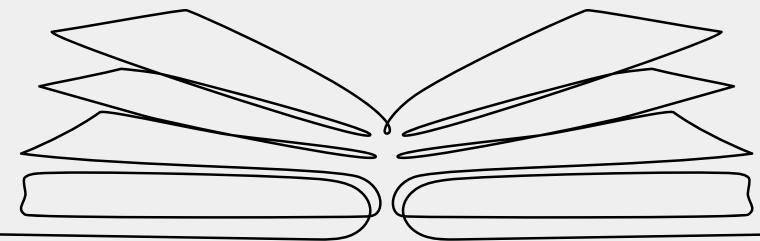
15時半～17時イベント

17時～17時半 自由遊び

17時半～18時 片付け

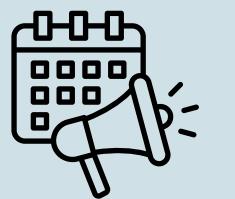


活動内容



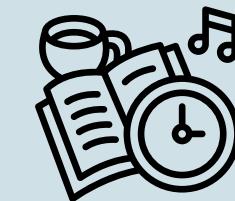
宿題補助

ボランティアの方々と一緒に宿題をやります。



イベント

毎回イベントを開催しています。



自由時間

自由遊びは各自で。宿題するもよし、ブロックで遊ぶもよし、寝転ぶもよし

活動目標

- ・インクルーシブな居場所支援
- ・配慮が必要な子もそうでない子も、そしてその親も一緒過ごす、交流する
- ・2024年度月2回から2025年度月4回へ
- ・利用者数一回あたり20人～30人
- ・寄付企業10社

■2024年度にスタートさせ、2025年度は開催数の増加、また、連携機関の増加、そして、寄付を増加させ運営費に充てる。

2024年11月デイ物件確保（※現在、物件はほぼ確定、人員も常勤はほぼ決定）

2024年12月デイ人員確保、デイ許認可申請を提出

2025年1月～2月、内装、デイのコンセプトを決定、また事務・経理・管理運営面、周知活動

2025年3月 プレオープン

2025年4月オープン、同時にぱぶすべもこの場所で月4回開催

2025年夏頃 にじいろ学童との連携

現状

- 毎週月曜、デイサービス「Nest」で「ぱぶすべ」を開所
- 平均利用者数5名ほど（固定）



- 集客が厳しいので、10月よりセンターに戻す
- 月2回 開催
- 「Nest」との交流

中間報告

【よかった点】

- ・固定で利用してくれるお子さんは数名確保できた
- ・そのお子さんたちにとっては居場所、また、毎週楽しみになる場所になっている。
- ・地域のイベントに出展、参加（北大江地域の祭り、また、天満橋駅で開催のイベントなど）

【課題と感じている点】

- ・場所がわかりづらくなつたため、人が流れてこない。
- ・インクルーシブが推進できているか疑問
- ・他の機関との連携の難しさ（先方も多忙ため、交流ができない）

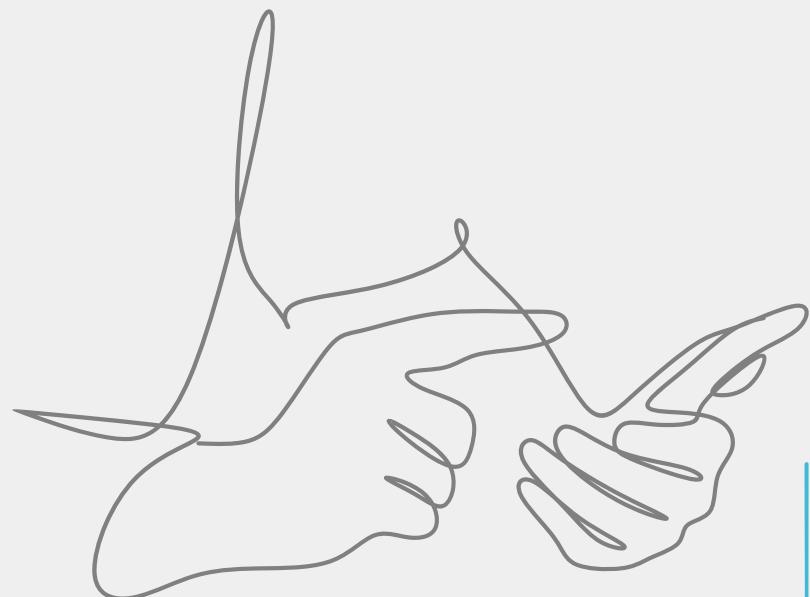
中間報告

- ・デイサービス「N e s t」の開所
- ・2025年5月より、当会が運営する児童発達支援・放課後等デイサービス「N e s t」にて、週4回開催。
- ・チラシを制作し、また、S N Sで開催を報告。また、昨年度から運営している公式L I N Eにて、告知を行う。
- ・地域に根ざす
- ・インクルーシブ科学イベントの開催



今後について

- ・ぱぶすぺ利用のお子さん、また、デイサービス「N e s t」利用のお子さんと合同で、キャンプ活動をする（11月）
- ・寄付活動のため、営業部隊を補強
- ・ぱぶすぺとデイサービス「N e s t」のお子様達の交流
- ・場所を元の場所（校下センター）に戻す
- ・校下センターで開催し、そこにN e s tの利用のお子さんたちも合同で遊ぶ
- ・チラシを大阪市全域に配布して、周知



来年度について

- ・居場所支援の常設化を検討
- ・ぱぶすペとNestの交流（定期的なイベント参加など）
- ・国への提言

